

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画, 京都市循環型社会推進基本計画（2009-2020）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト	
1 一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	b	b	880	860	860	100.0%	a	1.00	
2 再生利用率(%)	a	b	23.5	24.0	24.6	97.6%	b	1.00	
3 ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	391	377	350	107.7%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27度回答					有効回答 者数	評価	
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないよう なくらしと事業活動が広がっている。	148	260	82	41	11	542	a	
	27.3%	48.0%	15.1%	7.6%	2.0%			
2 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイ クルが進んでいる。	168	208	106	39	24	545	a	
	30.8%	38.2%	19.4%	7.2%	4.4%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
						市民生活実感調査総合評価		a

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					26年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						25年度	A
(原因分析) 【客観指標】 ●生ごみ3キリ運動等の啓発に加え、平成26年6月から実施した雑がみの分別・リサイクルの全市展開、また、事業ごみ減量の取組として、大規模事業所への立入調査及び許可業者搬入手数料の改定(800円/100kgから1000円/100kg)を行ったことなどにより、本市のごみの受入量は減少し、一人一日当たりのごみ量は20グラム減少した。このため、目標値を達成し、b→a評価と前年度から改善した。 ●上記の取組等により、本市のごみの受入量は減少するとともに、資源回収量が増加したことから、再生利用率は増加したものの目標値には届かず、b→b評価となった。 ●本市のごみ焼却量は減少したものの、前年度に引き続き所内の消費電力削減に努めたことと、搬入されるごみをより発電効率の高いクリーンセンターで焼却する計画としたことにより、ごみ1トン当たりの発電量は目標値を上回り、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】 ごみを出さないくらしや事業活動、ごみの分別・リサイクルの取組については、着実に浸透しており、前年度に引き続きa評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	33,345	43,211	普通	環境政策局
2	コミュニティ回収等の集団回収事業	59,835	71,789	良い	環境政策局
3	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	22,338	26,644	普通	環境政策局
4	蛍光管拠点回収事業	14,288	17,044	良い	環境政策局
5	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	13,475	20,244	普通	環境政策局
6	資源物回収拠点の設置	73,731	73,385	良い	環境政策局
7	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	17,679	17,402	良い	環境政策局
8	移動式拠点回収事業	26,632	31,123	かなり良い	環境政策局
9	観光トイレ制度	-	24,900	-	環境政策局
10	マイボトル推奨等サポート事業	21,840	7,843	普通	環境政策局
11	イベント等のエコ化の推進	16,171	29,437	かなり良い	環境政策局
12	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	9,841	10,837	良い	環境政策局
13	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,343	9,371	良い	環境政策局
14	ごみ減量推進会議の活動の支援～市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進～	71,669	72,521	良い	環境政策局
15	生ごみ減量推進事業	35,825	49,523	良い	環境政策局
16	小型家電リサイクル事業	10,002	17,601	良い	環境政策局
17	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	200,383	202,011	良い	環境政策局
18	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	42,286	27,778	良い	環境政策局
19	京都環境保全公社への府市協調支援	1,391,018	1,215,019	かなり良い	環境政策局
20	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	33,253	42,957	悪い	環境政策局
21	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	53,928	60,869	普通	環境政策局
22	雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業	31,131	-	-	環境政策局
23	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	439,787	1,440,775	-	環境政策局
24	埋立処分地整備事業	378,781	290,593	-	環境政策局
25	バイオマス活用の推進	32,728	36,453	-	環境政策局
26	「みんなで目指そう!ごみ半減!循環のまち・京都プランー京都市循環型社会推進基本計画」の推進	44,041	-	-	環境政策局
27	新たなごみ半減プランの推進～市民、事業者と共に創る循環型社会～	-	104,596	-	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 平成27年3月に策定した「新・京都市ごみ半減プラン」の初年度として、力強いスタートを切り、今後もピーク時からの「ごみ半減」の実現に向け、丁寧な周知に努め、資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減を図り、市民、事業者の皆様とともに循環型社会の構築に取り組む。
- クリーンセンターの施設保全計画を更新し、適切な補修等の整備を行うことで、安定したごみ焼却を行い発電効率の向上に努める。
- 以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感の維持、更なる向上を図る。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
1 指標の説明						
一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
	数値	数値		根拠	達成度	
数値	880	860	20グラム減	860	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	750グラム	32年度	85.3%	京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)		
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新値－目標値が、 a：0グラム以下 b：0グラム超～70グラム以下 c：70グラム超～140グラム以下 d：140グラム超～210グラム以下 e：210グラム超		当年度の目標値（860グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)の基準年度（平成20年度）のごみ量（1,070グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（70グラム間隔）で基準を設定		25	26	27
				b	b	a

指標名	再生利用率（%）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
1 指標の説明						
ごみの総排出量に対する再生利用量の割合						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
循環型社会の構築に向けたリサイクルの推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 24年度	最新数値 25年度	推移	目標値		
	数値	数値		根拠	達成度	
数値	23.5	24.0	0.5ポイント増	24.6	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	97.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	31%	32年度	77.4%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>		
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
目標値－最新値が、 a：0%以下 b：0%超～2.2%以下 c：2.2%超～4.4%以下 d：4.4%超～6.6%以下 e：6.6%超		当年度の目標値（24.6%）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)の基準年度（平成20年度）の再生利用率（18.0%）を下回った場合をeとし、b～dは等間隔（2.2%間隔）で基準を設定		25	26	27
				a	b	b

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築
-----	------	-----------------

指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)
-----	---------------------

担当課	施設管理課	連絡先	212-9820
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量

2 指標の意味

「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却等処理量
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	391	377	14(kWh/t)減	350	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(440kWh/t)に対する当年度の計画値	107.7%

	全国順位	中長期目標		
		数値	目標年次	達成度
数値		440kWh/t	32年度	85.7%

京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：90%以上
b：90%未満～80%以上
c：80%未満～70%以上
d：70%未満～60%以上
e：60%未満

6 基準説明

全クリーンセンターにおける発電量を焼却等処理量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a